



# EL CAMINO DEL CORTADOR コルタドールへの道



歯科技工士や墓石の施工技術者、電気製品の設計など、さまざまな経歴を持つ横川剛貴さん。そんな彼が30歳を過ぎて出会ったのが、スペイン料理でした。そして、スペイン料理の世界でみつけたのは、コルタドール(生ハムのサービスマン)。昨年、東京で行われた全国コンテストでは、準優勝となり、スペインでも認められる存在へと駆け上がりました。そんな横川さんがコルタドールへの道について語ってくれました。

私はこれまで、いろんな職種を経験してきましたが、一方でずっと興味を持ち続けてきたのが「料理」でした。そして30歳を過ぎた2006年1月、これからずっと取り組みたいものは何かを考えた時、「料理の道に進みたい」と考えるようになったんです。そして、何度か食べに行き印象に残っていたスペイン料理店「エル・フォゴン」の求人に応募し、株式会社バハルボールに入社しました。

以前、居酒屋や焼肉店で少し働いたことがあったので、ある程度料理のことはわかってたつもりでしたが、スペイン料理に関しては勉強することばかりでしたね。「エル・フォゴン」では、炭焼きの担当から始まり、バルやレストランでのサービス、キッチンでの調理など、幅広く経験させていただけたことで、自分の持ち味や興味の対象の幅が増えていったように思います。

その後、1号店の「ラ・マーサ」での勤務を経て、3号店の「ラ・ガジェガ」へ。コルタドールという専門職があることを知ったのはそのころですね。生ハムのカットは普段からやっていたことなので、「仕事をしながら腕を磨きたい」と思うようになりました。さらに、食品見本市でコルタドールの解説DVDをいただいたのを機に、さらにコルタドールに夢中になりましたね。

そして一昨年、店の仲間とハモンのカット講習会に参加。そこでコルタドールのコンテスト「第3回アンダルシア産イベリコハム公式コルタドールコンテスト」があることを知り、チャレンジすることにしました。

予選は去年、東京、京都、長崎の3個所で行われ、京都だけでも約30人がエントリーしていましたが、意外とスムーズにパスすることができました。そしてその3カ月後、東京で決勝が行われたのです。内容は、1時

間の制限時間内に各エリアから2人ずつ選ばれた代表の計6人が、マサ(モモ裏)100グラム、コントラマサ(前モモ)80グラム、プンタ(尻)60グラムをどんどんお皿に盛りつけていき、最後にプレゼンテーション用の一皿を用意するというものでした。カットングに関しては、普段お店でやっていることなので、そこそこ自信はありました。プレゼンテーション用の一皿は、各部位の味の違いを楽しんでいただくというコンセプトで盛りつけました。結果は、私の準優勝。優勝こそは逃しましたが、全国2位になれたので、うれしかったですね。

そして今年、コンテストの優勝者と準優勝者として、アンダルシアへの研修に招待していただきました。そこではイベリコ豚を飼育するデエサ(人工の牧草地)、ハモンの工場などを視察。イベリコ豚の飼育やハモンの製造に携わる人の努力や知恵、そしてスペインの食の伝統を目の当たりにすることができ、コルタドールとして、それらを正しく伝えていかなければならないという責任感がいっそう強くなりました。

帰国後も、私は「ラ・ガジェガ」で生ハムのカットングやホールでのサービスなどを担当していますが、これまで得た知識や、カットングの技術を他のスタッフに伝えたいと思っています。そして、生ハムのカットングやサービスを通して、スペイン料理の「おいしさ」、「たのしさ」をお客さまに知っていただけるよう心がけています。

バハルボールは、さまざまなことを幅広く経験させていただきながら自分の興味の対象をみつけ、チャレンジできる職場だと思います。これからバハルボールに入社する人にも、スペイン料理の魅力をお客さまに伝える仕事を通して、自分の意欲をどんどんカタチにしていってほしいですね。

(横川剛貴)



写真上:アンダルシア研修中の様様が現地の新聞で紹介されました。  
写真左:コルタドールコンテストで準優勝。手には副賞のアンダルシア研修旅行の切符が!  
写真右上:研修中に訪れたデエサ。

## コルタドールとは・・・

コルタドール(Cortador)とは、熟成度合い、品質、管理まで生ハムの全てに熟知した、「生ハム職人」と呼ぶに値する存在。

専門的な知識はもちろんのこと、大きな生ハムの塊に、薄く均等になるようなナイフを滑らせて、平らな断面になるようにカットする確かな技術を身につけていなければなりません。

カットによって味が変わるとまで言われる生ハムには、まさに必要不可欠な存在です。

横川さんがコルタドールとしての腕を奮う「スペイン食堂 ラ・ガジェガ」  
詳細はウェブページをご覧ください! <http://www.la-gallega.jp/>